

安全データシート

作成日：2016年1月7日

改訂日：2021年12月14日

1. 化学物質等及び会社情報

製品名：ガラス親水コート剤

会社名：鈴木油脂工業株式会社

住所：大阪府大阪市東淀川区下新庄1-8-23

電話番号：06 (6476) 7567

FAX 番号：06 (6326) 0181

緊急連絡先：クリーンシステム部

担当：豊原

推奨用途及び使用上の制限：ガラスの親水化剤

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

【物理化学的危険性】

分類対象外もしくは区分外

【健康に対する有害性】

急性毒性（経口） 分類できない

（経皮） 分類できない

（吸入 ガス） 分類対象外

（吸入 蒸気） 分類できない

（吸入；粉塵 ミスト） 分類できない

皮膚腐食性／刺激性 区分外

眼損傷性／刺激性 区分外

呼吸器感作性 区分外

皮膚感作性 区分外

生殖細胞変異原性 区分外

発ガン性 区分外

生殖毒性 区分外

特定標的臓器毒性（単回暴露） 区分外

特定標的臓器毒性（反復暴露） 区分外

吸引性呼吸器有害性 分類できない

【環境に対する有害性】

水生環境有害性（急性） 分類できない

水生環境有害性（慢性） 分類できない

【ラベル要素】

なし

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別：混合物



成分名	CAS No,	含有量 (%)	化学式
親水性樹脂	—	—	—
安定化剤	—	—	—
水	—	—	—

注意：上記記載の—は、不明又は非公開を示す。

4. 応急措置

- 吸入した場合：新鮮な空気の場所に移動させ安静にする。
- 皮膚に付着した場合：多量の水および石鹸で洗い流す。
- 目に入った場合：清浄な水で最低15分以上洗眼する。洗眼の際、まぶたを指でよく開いて、眼球、まぶたのすみずみまで水がいきわたるように洗浄する。
- 飲み込んだ場合：口をすすぎ、大量の水で薄める。

5. 火災時の措置

引火性なし

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置：

屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。作業の際には適切な保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、ガスを吸入しないようにする。風上から作業して、風下の人を退避させる。こぼれた場所はすべりやすいために注意する。

環境に対する注意事項：漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。汚染された排水が適切に処理されずに環境へ排出しないように注意する。

回収、中和：乾燥砂、土、おがくず、ウエス等に吸収させて、密閉できる空容器に回収する。残りは、大量の水で洗い流す。

7. 取り扱い及び保管上の注意

取扱い 技術的対策：特になし。

注意事項：容器を転倒させ落下させ衝撃を与え又は引きずる等の粗暴な扱いをしない。漏れ、溢れ、飛散などしないようにし、みだりに蒸気を発生させない。使用後は容器を密閉する。取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。指定された場所以外では飲食、喫煙をしてはならない。休憩場所では手袋その他汚染した保護具を持ち込んではいならない。取扱い場所には関係者以外の立ち入りを禁止する。

取扱い注意事項：吸い込んだり、目、皮膚及び衣類に触れないように、適切な保護具を着用する。屋内作業場における取扱い場所では、局所排気装置を使用する。

保管

適切な保管条件：直射日光を避け、換気の良い冷所（25℃以下）に密閉して保管する。

技術的対策：涼しい所/換気の良い場所で保管すること。

混触禁止物質：水反応可燃性物質

安全な容器包装材料：ポリエチレン

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策： 蒸気またはヒュームやミストが発生する場合は、発生源を密閉し、局所排気装置を設置する。
 取扱い場所の近くに、目の洗浄および身体洗浄のための設備を設置し、その場所を表示する。

管理濃度 作業環境評価基準： 設定されていない

許容濃度 OSHA PEL： 設定されていない

ACGIH TLV(s)： 設定されていない

日本産業衛生学会： 設定されていない

保護具

呼吸器の保護具： 保護マスク

手の保護具： 保護手袋

目の保護具： 保護眼鏡

皮膚及び身体の保護具： 長袖作業衣

9. 物理的及び化学的性質

形状： 液体

色： 無色澄明

臭い： なし

融点： 0℃

沸点（初留点）： 100℃

引火点： なし

自然発火温度： なし

爆発範囲（上限・下限）： なし

比重： 1.0

溶解度

溶媒に対する溶解性： 水と任意の割合で混和。

10. 安定性及び反応性

安定性： 安定

危険有害反応可能性： データなし

避けるべき条件： 日光、熱

11. 有害性情報

呼吸器感作性又は皮膚感作性： データなし

生殖細胞変異原性： データなし

発がん性： データなし

生殖毒性： データなし

特定標的臓器・全身毒性、単回暴露： データなし

特定標的臓器・全身毒性、反復暴露： データなし

吸引性呼吸器有害性： データなし

12. 環境影響情報

生態毒性 魚毒性： データなし

残留性／分解性： データなし

生体蓄積性： データなし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物：大量の水で希釈する。

廃棄においては関連法規ならびに地方自治体の条例に従うこと。

上記方法による処理ができない場合は都道府県知事の許可を得た専門の廃棄物処理業者に委託処理する。

汚染容器及び包装：空容器を廃棄する場合、内容物を完全に除去した後に処分する。

14. 輸送上の注意

国連番号：非該当

国連分類：非該当

注意事項：輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。

転倒、落下、破損がないように積み込み、荷くずれの防止を確実に行う。

15. 適用法令

消防法：非該当

毒物及び劇物取締法：非該当

労働安全衛生法：非該当

船舶安全法（危規則）：非該当

航空法：非該当

化学物質管理促進法（PRTR法）：非該当

16. その他の情報

責任の限定について：安全データシート（SDS）は、現時点で入手できる最新の資料、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。また、SDS中の注意事項は通常の取扱いを対象にしたものです。製品使用者が特殊な取扱いをされる場合は用途及び使用方法に適した安全対策を実施の上、製品を使用して下さい。また、当社は、SDS記載内容について十分注意を払っていますが、その内容を保証するものではありません。